

雲南省の概況

2015年3月

日本貿易振興機構(ジェトロ)成都事務所

はじめに

雲南省は、中国西南地域に属し、自然環境に恵まれた地域である。動植物や鉱物資源も豊富であり、「有色金属王国」とも呼ばれている。たばこ産業も同省の基幹産業の1つだ。また、省内には4ヵ所の世界遺産（自然遺産、文化遺産を合計した数）を有しており、観光業も発展している。こうした自然環境は、対日貿易にも反映されており、日本にも多くの花卉等農産品が輸出されている。

また、同省は、ミャンマー、ラオス、ベトナムと国境を接し、その国境線の長さは、4,060キロメートルに達している。省都昆明市の空の玄関口である昆明長水国際空港からは、東南アジア・南アジアを中心に、2014年末時点で46の国際路線（香港・マカオ・台湾を含む）が就航しているほか、昆明市には、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、マレーシア、ミャンマー、バングラデシュの7ヵ国が領事館を設置している。

こうした東南アジア、南アジアとの地理的近接性をさらに活用するべく、中国政府ならびに雲南省政府は、2013年以降「中国-南アジア博覧会」を毎年開催、近隣諸国とのビジネス関係を強めることで、同省のさらなる発展を目指している。2015年も6月12～16日の日程で開催される予定だ。

また、中国政府が2015年以降本格的に計画を推進するとみられる「一帯一路」（陸と海のシルクロード）戦略においては、国境を超える交通インフラの整備がさらに進展することが予想され、雲南省のさらなる発展が期待されている。

本調査レポートは、雲南省に対する基本的な理解を深めていただくべく、同省の自然環境・地理的位置付けに始まり、マクロ経済状況・行政機関の状況、日本との経済関係、外資系企業の進出動向などの内容を盛り込んだ。皆様のご参考になれば幸甚である。

2015年3月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
成都事務所

※本調査レポートは、ジェトロ成都事務所が、北京天正創智信息技术有限公司に委託して作成した。

目 次

1.1	雲南省の地理的位置付け	4
1.2	雲南省政府行政機構の設置状況	6
1.3	雲南省の経済概況	9
1.4	雲南省の投資環境	18
1.5	雲南省省都（昆明市）の概況	23

本報告書に関する説明:

本報告で言及する用語とその定義:

(1) 産業:

中国の産業は以下の通りに区分される。

①第一次産業: 農業(栽培)、林業、牧畜業、漁業およびこれらに関連するサービス業を指す。

②第二次産業: 採掘業、製造業、電力・ガス・水の生産および供給業、建築業を指す。

③第三次産業: 第一次、二次産業以外のその他の業界(交通運輸、倉庫保管および郵政業、情報通信、コンピューターサービスおよびソフトウェア産業、卸売・小売業、宿泊業・飲食業、金融業、不動産業、リースおよびビジネスサービス業、科学研究、技術サービスおよび地質探査業、水利関連産業、環境関連産業、公共施設管理業、住民サービスおよびその他のサービス業、教育関連産業、衛生関連産業、社会保障および社会福祉業、カルチャー・スポーツおよび娯楽業、公共管理および社会組織)を指す。

(2) 海外直接投資:

外国企業および経済組織または個人(華僑、香港・マカオ・台湾および貴州省の企業で中国境外で登記を行っている企業を含む)が、中国の関連政策、法規に基づいて、現金、現物、技術等を用いて、貴州省内に、独資企業を設立する、中国境内(中国境内とは、香港・マカオ・台湾を除く中国国内を指す。逆に、境外は、香港・マカオ・台湾を含む中国国外を指す。以下、同じ)の企業または経済組織と共同で合併経営企業、協力経営企業を設立するまたは共同で資源開発を行うことに對して行う投資(外国企業が投資収益を再投資することもこれに含まれる)ならびに政府関連部門が批准したプロジェクトの投資総額のうち企業が境外から借り入れた資金を指す。

(3) 開発区:

国家級と省級の2つの等級がある。

①国家級開発区: 国務院の批准を経て設立された開発区である。主に経済技術開発区、ハイテク技術産業開発区、輸出加工区、保税區、台湾企業投資区、国境提携経済区、国家旅行・リゾート区(中国語での表記はそれぞれ、経済技術開発区、高新技術産業開発区、出口加工区、保税區、台商投資区、辺境合作経済区、国家旅游度假区)等のタイプが含まれる。

本報告書で言及する国家級開発区は、主に経済技術開発区およびハイテク技術産業開発区が含まれるものを指す。

②省級開発区: 省級人民政府の批准を経て設立された開発区である。主に、経済開発区と工業団地(中国語での表記は、工業園區、産業園區)の2つのタイプに分かれる。これらは各工業プロジェクトを進展させることを主な機能としており、一部の省級ハイテク技術工業団地もこれに含まれる。

(4) 国家級新区:

国家級新区とは、中国が設立した開放・改革を進めるための新しい大都市区域を指す。全体的な発展目標、発展の位置づけ等は国務院が統一的に計画・審査する。関連する特殊優遇政策・権限については国務院が直接許可を出し、管轄区内でより開放的かつ優遇的な特殊政策を施行し、新区の制度改革と革新を模索する業務を奨励する。2014年末現在、中国には合計11の国家級新区(上海浦東新区、天津濱海新区、重慶両江新区、浙江舟山群島新区、甘肅蘭州新区、広東広州南沙新区、陝西西咸新区、貴州貴安新区、山東青島西海岸新区、大連金普新区および四川天府新区)がある。

(5) 社会消費品小売総額: 国民経済においてそれぞれの業界が都市・農村住民および社会集団に直接販売した消費財の総額を指す。

(6) 1人当たりの可処分所得: 個人収入のうち、政府に収める各種直接税および非商業性費用等を控除した残額、すなわち個人可処分所得の平均値を指す。

1.1 雲南省の地理的位置付け

雲南省は、中国西南部の国境沿いに位置する省である。東は貴州省、広西チワン族自治区に、北は四川省に、西北部はチベット自治区に接する。西部はミャンマーと、南部はラオス、ベトナムと国境を隔てる。中国で最も長い国境線を持つ省の1つでその長さは4,060キロメートルになる。省全体の総面積は39万4,000平方キロメートルで、中国国土の4.1%を占め、全国第8位の面積を擁する。2013年末現在、省全体の定住人口は4,686万6,000人となっている。

地理情報および人口

- ① 土壌資源：雲南省は、気候、生物、地質、地形等が相互に影響しあい、多種多様な土壌を形成している。このうち、最も重要かつ最も広く分布しているのが赤色土壌で、省の総面積の半分を占める。
- ② 植物資源：中国に生育する3万種の高等植物のうち、60%以上は雲南省に存在する。主要な植物としては、望天樹、跳舞草（マイハギ）、麗江雲杉（学名：Picea likiangensis）、パラゴムノキ、アブラヤシ、サンシチニンジン、バビショウ（馬尾松、学名：Pinus massoniana）、ウンナンマツ（雲南松）、タマリンド等がある。
- ③ 動物資源：動物の種類、数共に中国一を誇る。このうち、脊椎動物は1,737種で、全国の58.9%を占める。スンダスローリス、滇金絲猴（キンシコウの一品種）、ゾウ、ガウル（野牛）、テナガザル、インドシナトラ、サイチョウ、オジロニジキジ等の貴重な動物も生息している。
- ④ 鉱産資源：極めて豊富な鉱産資源を有する。特に有色金属およびリンの埋蔵量に優れ、雲南省は「有色金属王国」とも呼ばれる。発見された鉱産物は143種で、そのうち86種は埋蔵量も明らかとなっている。さらに61種の鉱物の埋蔵量が国内TOP10に入っており、鉛、亜鉛、すず、リン、銅、銀等の25種は全国TOP3の含有量である。
- ⑤ 水資源：河川の水量が豊富で、省全体の水資源は2,256億平方メートル。これは中国第3位の数値である。水エネルギー資源埋蔵量は1億400万キロワットに達し、これも中国第3位となっている。

自然資源



気候

気候は基本的に亜熱帯湿潤性モンスーン型気候に属するが、地形が複雑なため、緯度と標高の別によって温帯性気候、亜熱帯性気候、熱帯性気候といったさまざまな気候帯に属する。年間の気温差は小さいものの、1日の気温差が大きい。また、標高の高低による気温の差が顕著である。省全体の平均気温は最も暑い7月で19～22℃、最も寒い1月は6～8℃以上となっている。年間の気温差は10～12℃。乾季と雨季がはっきり分かれており、省全体の降水は季節と地域によって極めて明らかな偏りがみられる。雨季にあたる5～10月に年間降水量の85%が集中し、乾季となる11～4月までの降水は、年間降水量の15%に過ぎない。

出所：雲南省人民政府公式ウェブサイトの情報を基に整理



1.2 雲南省政府行政機構の設置状況

(1) 省政府の主要な指導者

中国共産党
雲南省委員会
(以下、省委)
指導者



李紀恒(中央委員、省委書記、省人民代表大会常務委員会主任)

姓名	役職
李紀恒	中央委員、省委書記、省人民代表大会常務委員会主任
陳 豪	省委副書記、省長
李 江	常務委員、常務副省長
黄 毅	常務委員、統一戦線工作部部長
孟蘇鉄	常務委員、政法委員会書記
曹建方	常務委員、省委秘書長
辛維光	常務委員、省紀律検査委員会書記
劉維維	常務委員、組織部部長
趙 金	中央委員会候補委員、省委常務委員、宣伝部長
李 培	常務委員、高等学校工作委員会書記
石 曉	常務委員、省軍区政委員

省政府指導者



陳豪(省委副書記、省長)

姓名	役職
陳 豪	省委副書記、省長
李 江	常務委員、常務副省長
高 峰	副省長
和段琪	副省長
丁紹祥	副省長
高樹勲	副省長
劉慧晏	副省長
尹建業	副省長
張祖林	副省長
劉 平	省政府資政
楊嘉武	省長助理、省公安厅庁長
張登亮	省政府党構成員

出所:雲南省人民政府公式ウェブサイトの情報を基に整理

1.2 雲南省政府行政機構の設置状況

(2) 省政府の組織構造

雲南省人民政府

発展改革委員会

工業情報化委員会

教育庁

科学技術庁

民族宗教事務委員会

公安庁

国家安全庁

監察庁

民政庁

司法庁

財政庁

人的資源社会保障庁

国土資源庁

環境保護庁

住宅都市・農村建設庁

交通運輸庁

農業庁

林業庁

水利庁

商務庁

文化庁

衛生計画生育委員会

審計庁

人民政府外事弁公室

旅游発展委員会

構成部門(25部門)

能源局

物価局

国防科技工業局

石炭工業管理局

公務員局

監獄管理局

管理機構(6機構)

人民政府国有資産監督管理委員会

地方税務局

人民政府研究室

工商行政管理局

質量技術監督局

新聞出版広電局

体育局

安全生産監督管理局

食品薬品監督管理局

統計局

人民政府華僑事務弁公室

人民政府法制弁公室

人民政府金融弁公室

人民政府扶貧開発弁公室

人民防空弁公室

直属機構(15機構)

出所:雲南省人民政府公式ウェブサイトの情報を基に整理

番号	構成部門	電話番号
1	発展改革委員会	0871-63113356
2	工業情報化委員会	0871-63513383
3	教育庁	0871-65141240
4	科学技術庁	0871-63136484
5	民族宗教事務委員会	0871-64608027
6	公安庁	0871-63051311
7	国家安全庁	0871-63051311
8	監察庁	0871-63991000
9	民政庁	0871-65731341
10	司法庁	0871-64189001
11	財政庁	0871-63620232
12	人的資源社会保障庁	0871-63635363
13	国土資源庁	0871-65747301
14	環境保護庁	0871-64145235
15	住宅都市・農村建設庁	0871-64322033
16	交通運輸庁	0871-65305621
17	農業庁	0871-65738771
18	林業庁	0871-65011679
19	水利庁	0871-63631975
20	商務庁	0871-63173325
21	文化庁	0871-63611529
22	衛生計画生育委員会	0871-67195110
23	審計庁	0871-63633386
24	人民政府外事弁公室	0871-64098099
25	旅游発展委員会	0871-64608735

番号	直属機構	電話番号
1	人民政府国有資産監督管理委員会	0871-63611063
2	地方税務局	0871-63649282
3	人民政府研究室	0871-63629850
4	工商行政管理局	0871-64566131
5	質量技術監督局	0871-63169911
6	新聞出版広電局	新聞・出版:0871-64196648 ラジオ・テレビ:0871-65301958
7	体育局	0871-63164626
8	安全生産監督管理局	0871-68025600
9	食品薬品監督管理局	0871-68315800
10	統計局	0871-65108420
11	人民政府華僑事務弁公室	0871-63323712
12	人民政府法制弁公室	0871-63649612
13	人民政府金融弁公室	0871-63133718
14	人民政府扶貧開発弁公室	0871-65124607
15	人民防空弁公室	0871-63995201

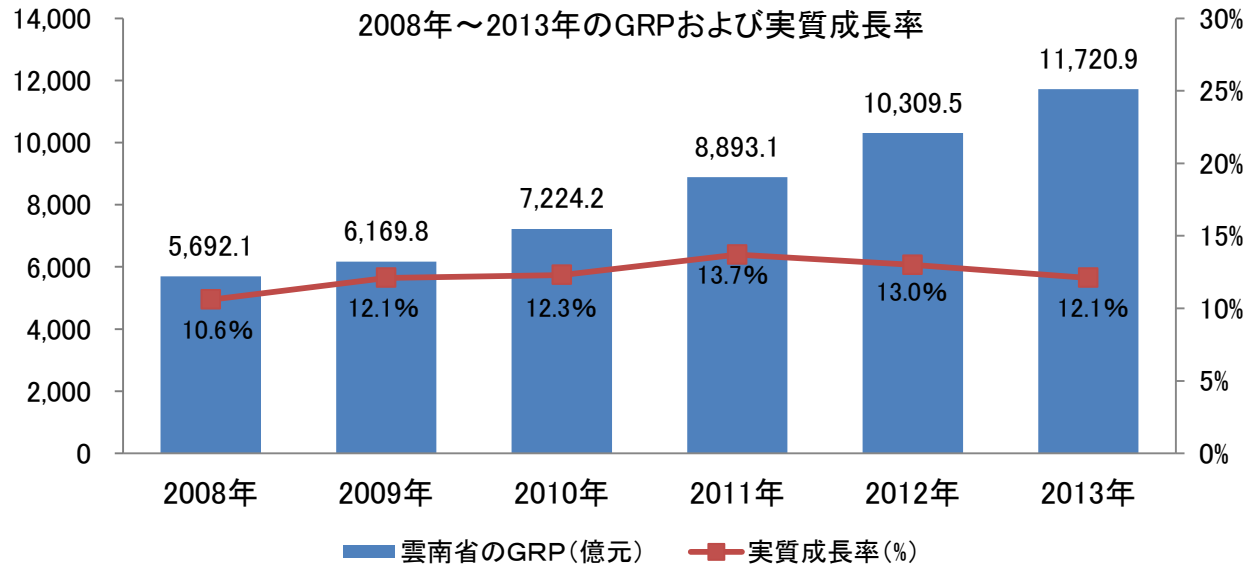
番号	管理機構	電話番号
1	能源局	0871-63113822
2	物価局	0871-63113869
3	国防科技工業局	0871-65321963
4	石炭工業管理局	0871-63168723
5	公務員局	0871-63630411
6	監獄管理局	0871-66116110

1.3 雲南省の経済概況

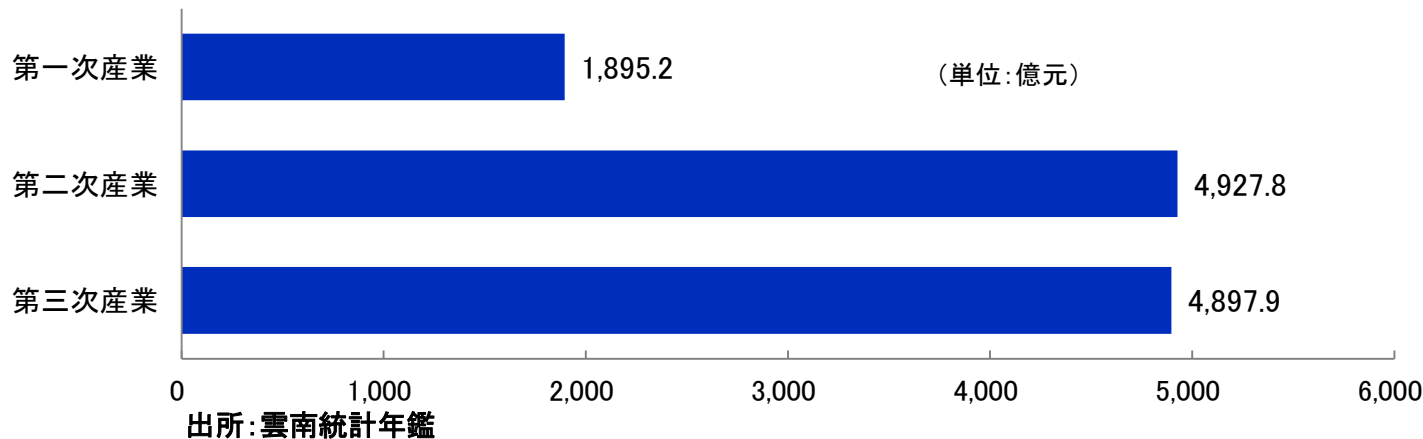
(1) 域内総生産 (GRP)

① 域内総生産および第一次～三次産業別内訳

(単位: 億元)



第一次～三次産業別内訳



2013年の雲南省の域内総生産 (GRP) は1兆1,720億9,100万元、実質成長率は12.1%となった。

このうち:

第一次産業は1,895億1,600万元、第二次産業は4,927億8,200万元、第三次産業は4,897億9,300万元となっている。

GRPの産業別シェア

(第一次: 第二次: 第三次) は、16.2%: 42.0%: 41.8%となっている。

1.3 雲南省の経済概況

(1) 域内総生産額 (GRP)

② 域内の各業界の総生産額

2013年、第二次産業における主要業界の総生産額

主要業界	総生産額(億元)	第二次産業総生産額に占める割合(%)
 建設業	1,160.2	23%
 タバコ業	1,076.5	22%
 電力・ガス	425.3	9%
 非鉄金属	339.3	7%
 石炭業	254.8	5%
その他 (化学工業原料および製品、黒色金属業界等)	1,671.7	34%
合計	4,927.8	100%

出所: 雲南統計年鑑

2013年、第三次産業における主要業界の総生産額

主要業界	総生産額(億元)	第三次産業総生産額に占める割合(%)
 卸売・小売業	1,162.2	24%
 金融業	693.9	14%
 交通運輸倉庫保管サービス業	273.2	6%
その他 (不動産、旅行業業界等)	2,768.6	56%
合計	4,897.9	100%

1.3 雲南省の経済概況

(2) 主要工業製品および農作物の生産量

2013年の主要**工業製品**およびその生産量

主要工業製品	生産量	単位
原炭	8,185.5	万トン
粗鋼	1,884.8	万トン
鋼材	2,053.9	万トン
発電量	1,954.6	億キロワット時
砂糖	236.5	万トン
巻きタバコ	3,787.8	億本
セメント	9,009.2	万トン
布	298.0	万メートル
機械漉き紙および板紙	41.4	万トン

出所：雲南統計年鑑

2013年の主要**農作物**およびその生産量

主要農作物	生産量	単位
穀物	1,897.6	万トン
植物油原料	60.7	万トン
サトウキビ	2,146.3	万トン
葉タバコ	107.6	万トン
果物	634.5	万トン
茶葉	30.2	万トン

1.3 雲南省の経済概況

(3) 貿易状況

① 輸出入金額および主要品目

2013年の雲南省の貿易総額は前年比22.9%増の258億2,900万ドルであった。このうち輸出総額は同59.3%増の159億5,900万ドル、輸入総額は同10.2%減の98億7,000万ドルであった。主要輸出入品目は以下のとおり。

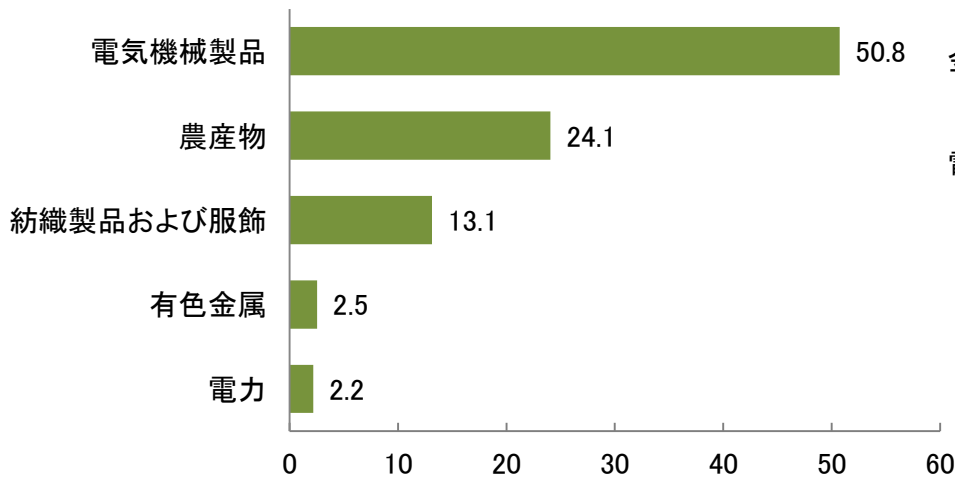
貿易総額
(258億2,900万ドル)

輸出総額
(159億5,900万ドル)

輸入総額
(98億7,000万ドル)

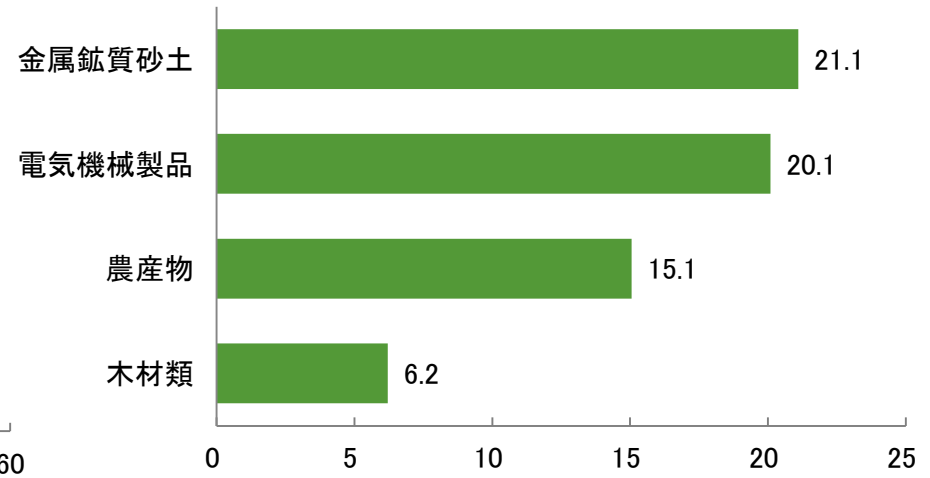
2013年の輸出主要品目

(単位: 億ドル)



2013年の輸入主要品目

(単位: 億ドル)



出所: 雲南省統計公報

1.3 雲南省の経済概況

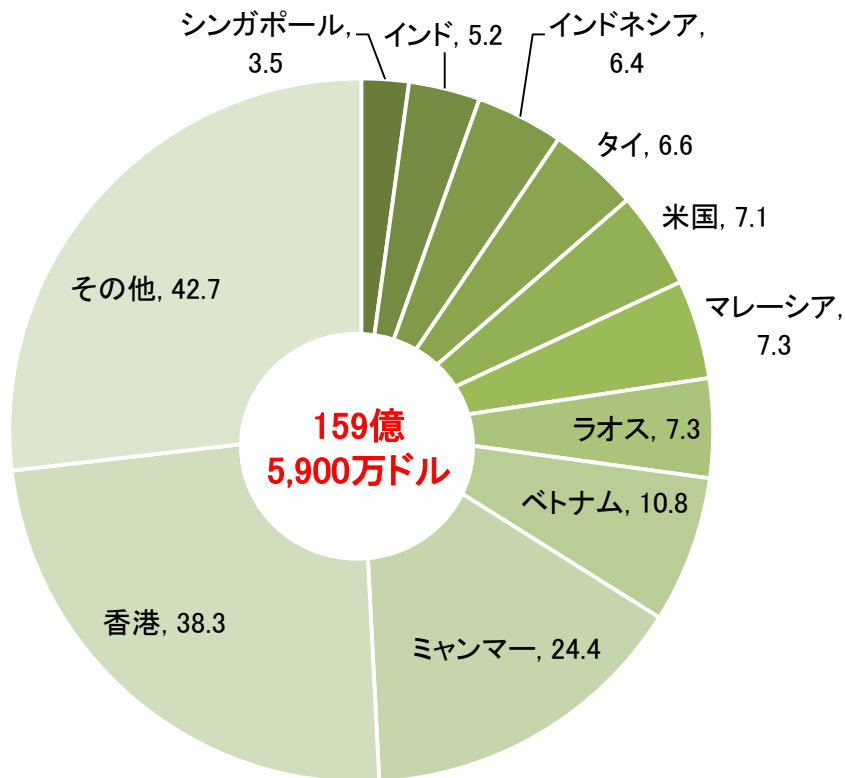
(3) 貿易状況

② 主要輸出入相手国・地域

2013年、雲南省は、ASEANに対して67億4,500万ドルの輸出、41億5,000万ドルの輸入を行っている。EU向けは輸出が12億3,200万ドル、輸入が5億1,000万ドルであった。主要輸出入相手国と地域の詳細情報については下図を参照。

2013年の主要輸出相手国・地域

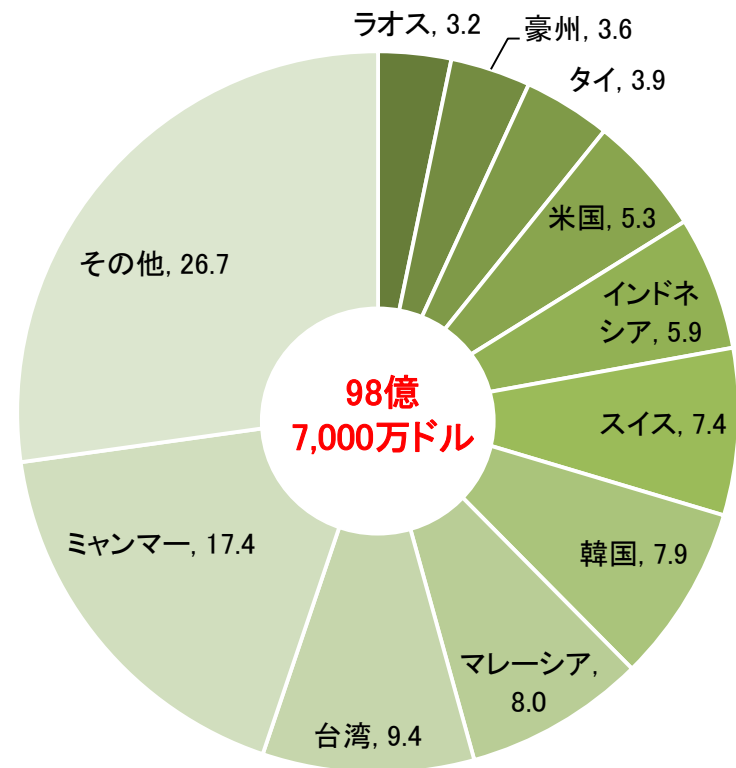
(単位: 億ドル)



出所: 雲南統計年鑑

2013年の主要輸入相手国・地域

(単位: 億ドル)

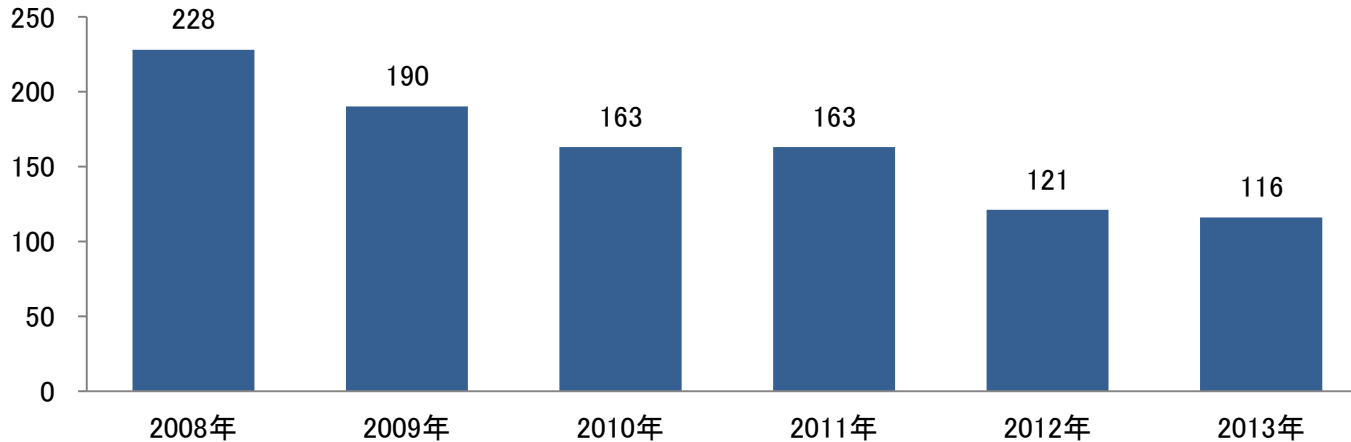


1.3 雲南省の経済概況

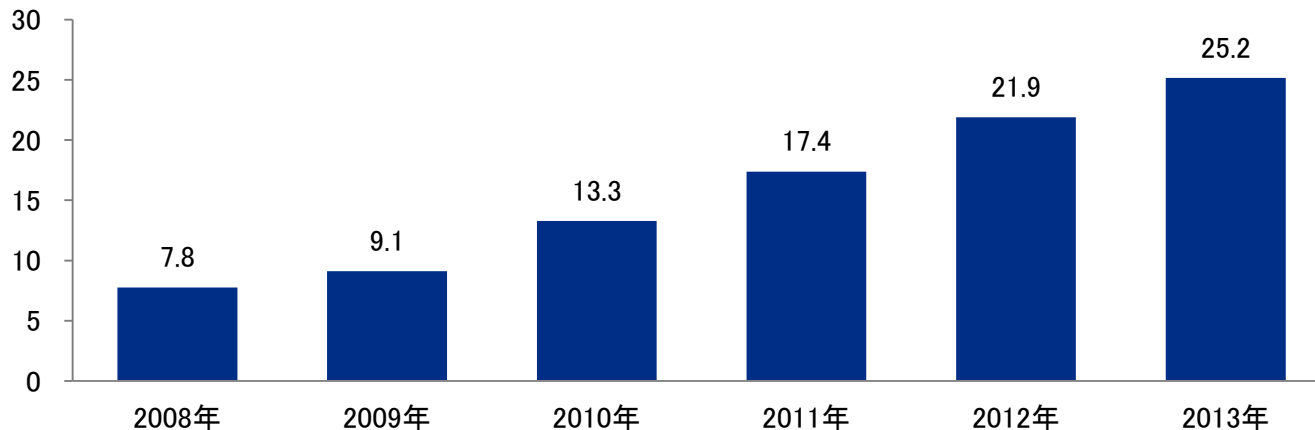
(4) 対内直接投資の動向

① 投資件数・投資額推移

2008～2013年の対内直接投資契約件数(件)



2008～2013年の対内直接投資実行額(億ドル)



出所:雲南統計年鑑

2013年における雲南省の対内直接投資動向は、契約件数が前年比4.1%減の116件、契約金額は同10.8%増の12億1,400万ドル、実行金額は同14.9%増の25億1,500万ドルであった。

2008年から2013年にかけて、契約金額が減少する一方、実行金額は増加を続けている。1件当たりのプロジェクトの規模が拡大していることがうかがえる。

1.3 雲南省の経済概況

(4) 対内直接投資の動向

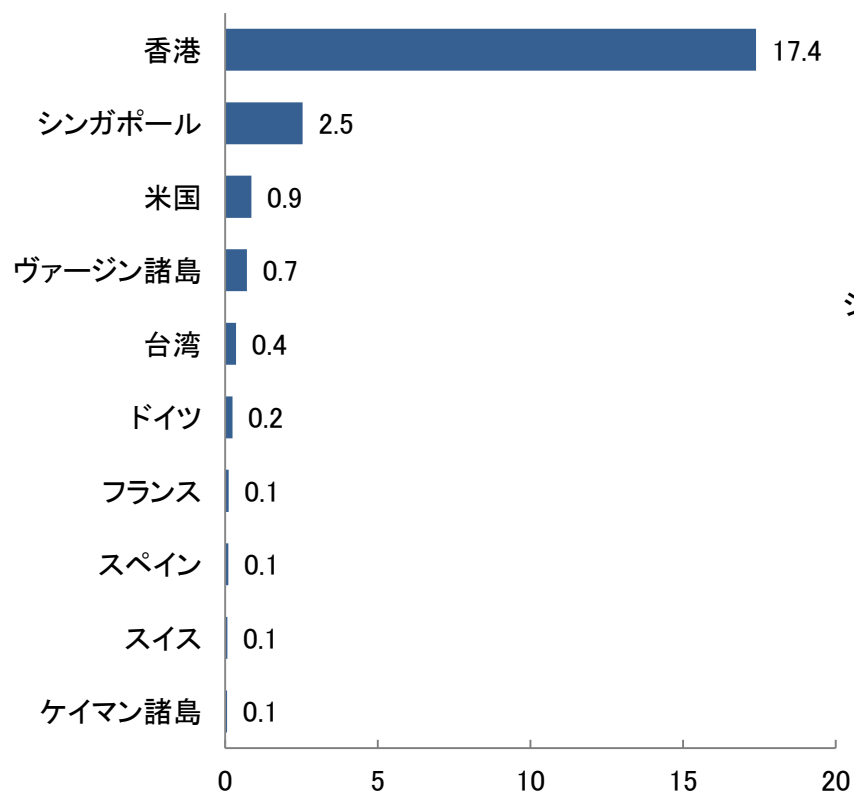
② 国・地域別対内直接投資状況

2013年、雲南省の対内直接投資実行額を国・地域別にみると(左図)、主にアジア、欧州、中南米、北米向けが中心であった。なお、各市・自治州別の対内直接投資契約件数は右図のとおり。

2013年の雲南省における対内直接投資実行額

上位10ヵ国・地域

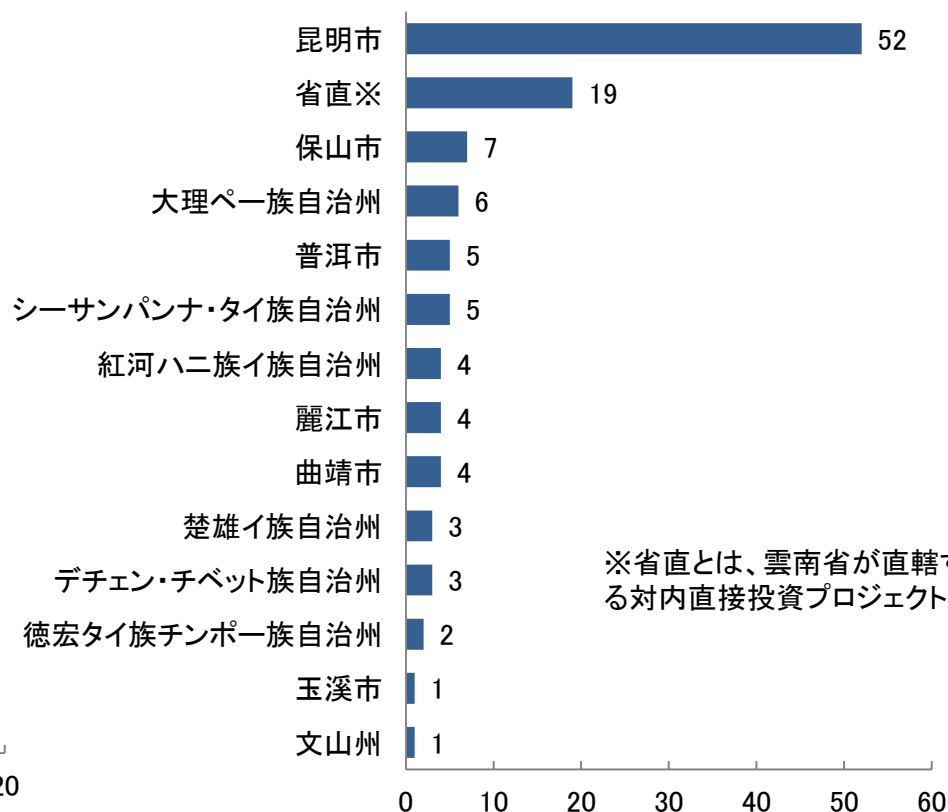
(単位: 億ドル)



出所: 雲南統計年鑑

2013年の雲南省各市・自治州別の対内直接投資契約件数

(単位: 件)



※省直とは、雲南省が直轄する対内直接投資プロジェクト。

1.3 雲南省の経済概況

(4) 対内直接投資の動向

③雲南省内の外資系企業数および代表的企業

2013年末現在、雲南省内で登録・登記を行っている外資系企業は4,262社。主にタバコおよびその付帯製品、有色金属、化学工業、食品加工、バイオ製薬、卸売・小売等の産業に関わる企業である。重点分野の代表的な外資系企業を、雲南省外商投資企業協会の推薦に基づいて以下にまとめる。

重点分野	番号	企業名称	成立年	所在地	企業形態	主要業務内容
タバコおよびその付帯製品	1	昆明醋酸纖維有限公司	1993年	昆明市	合併 (米国)	アセテート・トウの生産、タバコ用フィルターの生産。
	2	雲南紅塔藍鷹紙業有限公司	1994年	紅河自治州	合併 (ドイツ)	高級紙巻きタバコ向け巻紙、フィルター用成型紙等の生産。
有色金属	3	雲南浩鑫鋁箔有限公司	1988年	昆明市	合併 (米国)	アルミニウム板・帯・箔製品の生産、研究開発、販売。
	4	雲南思茅山水銅業有限公司	2006年	普洱市	合併 (香港)	銅鉱およびその共生鉱物、随伴鉱物であるその他金属鉱産資源の探査、採掘、加工、販売。
化学工業	5	雲南高深橡膠有限公司	2006年	昆明市	合併 (シンガポール)	天然ゴムの栽培、加工。
	6	雲南祥豊金麦化工有限公司	2010年	昆明市	合併 (シンガポール)	高、中濃度のリン化成肥料の生産。
食品加工	7	三栄源(昆明)食品原料有限公司	1991年	昆明市	独資 (日本)	食品原料、食品添加物の加工・製造。
	8	雲南国巨自然食品有限公司	2009年	大理ペー族自治州	独資 (台湾)	チャイブ、ニンニク、トウガラシといった各種野菜、果物、堅果類等の乾燥、鮮度保持、塩漬け、フライ、冷凍等の加工・生産および販売。
バイオ製薬	9	昆明貝克諾頓製薬有限公司	1992年	昆明市	合併 (イスラエル)	抗生物質、骨粗鬆症、骨関節炎治療分野での薬品の導入および生産。
	10	滇虹薬業集团股份有限公司	1993年	昆明市	独資 (ドイツ)	皮膚科の一般用医薬品(OTC医薬品)および様々な婦人科疾病を治療する伝統的な生薬製品の生産。
卸売・小売	11	昆明家樂福超市有限公司	2002年	昆明市	独資 (フランス)	各商品の小売およびそれに関連する付帯サービス等。
	12	昆明雲順和商業発展有限公司	2006年	昆明市	独資 (※香港・マカオ・台湾)	日用雑貨の小売の経營業務等。 ※登記上ではそのように記載されているが、具体的にどの地域の企業であるかは不明。

出所：雲南省工商局、商務庁、外商投資企業協会へのヒアリングを基に整理

1.3 雲南省の経済概況

(5) 雲南省と日本の経済関係

① 雲南省の日本との貿易状況

2013年、雲南省の対日輸出総額は2億4,400万ドルで、2億3,600万ドルであった前年から3.5%増加した。日本に対する主要な輸出品目には、生花(菊を中心とした切り花、切り枝)、マツタケ、コンニャクイモ等がある。また、同省は毎年1億株近い和菊の苗を日本へ輸出しており、菊苗の主要対日輸出地となっている。

2013年、雲南省の対日輸入総額は4,700万ドルで、7,900万ドルであった前年から39.5%減少した。日本から輸入された主な製品には、有機化合物、金属加工機械、建設・鉱山用機械、電子部品等がある。

② 日本企業の直接投資状況

2013年現在、日本の雲南省における直接投資プロジェクト件数は100件を超えるが、同年の対内直接投資実行額は100万ドルに満たない。投資分野は化学工業、金属、農業、食品加工およびバイオ製薬等となっている。雲南省内で投資を行っている日本企業の中で投資規模が比較的大きい代表的企業(雲南省商務庁が推薦する7社)を下表にまとめた。

番号	企業名称	成立年	日本側の投資企業	形態	所在地	業界・分野
1	雲南盤橋燐電有限公司	1997年	日本化学工業株式会社、双日株式会社	合併	玉溪市	化学工業
2	雲南銅業古河電気有限公司	2002年	古河電気工業株式会社	合併	昆明市	金属
3	昆明白鷗微藻技術有限公司	2004年	日本アスタキサンチン防腐工程有限公司、バイオジェニック株式会社	合併	昆明市	食品加工
4	雲南緑華食品有限公司	2004年	株式会社itk	独資	昆明市	食品加工
5	雲南河野教大農業科技有限公司	2005年	株式会社河野メリクロン、株式会社河野メリクロン販売、株式会社松村農園	合併	昆明市	農業
6	大理丸栄生物工程有限公司	2005年	鈴木万栄(自然人)	独資	大理ペー族自治州	バイオ製薬
7	三栄源(昆明)食品原料有限公司	2005年	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	独資	昆明市	食品加工

出所:雲南省商務庁外資処、雲南省工商局

1.4 雲南省の投資環境

(1) 省級以上の主要開発区の紹介

2014年末現在、雲南省は、国家級開発区を7カ所（国家級経済技術開発区5カ所、国家級ハイテク技術産業開発区2カ所）、省級開発区を100カ所余り有する。本報告では7つの国家級開発区および雲南省（8市、8自治州）の主要な省級開発区を紹介し、雲南省の開発区の現状を説明する。開発区のリストは下記の通りである。各開発区の具体的な情報についてはP19～22を参照のこと。

開発区の分類		番号	開発区の名称	所在地
国家級 開発区	経済技術開発区	1	昆明経済技術開発区	昆明市
	経済技術開発区	2	嵩明楊林経済技術開発区	昆明市
	経済技術開発区	3	曲靖経済技術開発区	曲靖市
	経済技術開発区	4	蒙自経済技術開発区	紅河ハニ族イ族自治州
	経済技術開発区	5	大理経済技術開発区	大理ペー族自治州
	ハイテク技術産業開発区	6	昆明高新技術産業開発区	昆明市
	ハイテク技術産業開発区	7	玉溪高新技術産業開発区	玉溪市
省級 開発区	経済開発区	8	騰衝経済開発区	保山市
	工業団地	9	馬竜工業園	曲靖市
	工業団地	10	南口工業園	麗江市
	工業団地	11	紅塔工業園区	玉溪市
	工業団地	12	臨滄工業園区	臨滄市
	工業団地	13	普洱工業園区	普洱市
	工業団地	14	昭陽工業園区	昭通市
	工業団地	15	安寧工業園区	昆明市
	工業団地	16	祥雲財富工業園区	大理ペー族自治州
	工業団地	17	馬塘工業園区	文山チワン族ミャオ族自治州
	経済開発区	18	迪慶香格里拉経済開発区	デチェン・チベット族自治州
	工業団地	19	瑞麗工業園区	徳宏タイ族チンポー族自治州
	工業団地	20	勐海工業園	シーサンパンナ・タイ族自治州
	工業団地	21	蘭坪工業園区	怒江リス族自治州
	工業団地	22	瀘西工業園	紅河ハニ族イ族自治州
	工業団地	23	禄豊工業園区	楚雄イ族自治州

出所：雲南省科技厅、中国開発区協会、雲南省工業園区および工業投融资協会等へのヒアリングに基づいて整理

1.4 雲南省の投資環境

(1) 省級以上の主要開発区の紹介

① 国家級開発区の紹介

昆明経済技術開発区は、1992年、昆明市が設立した。2000年には国务院の批准を経て国家級経済技術開発区に昇格している。主要産業は、農業副産物の加工、機械設備の製造、タバコ製品およびその付帯製品、電子情報および医薬製造業等である。



- ◆ 入居企業数^注: 1万3,000社
- ◆ 入居日系企業数^注: 3社
- ◆ 電話番号: 0871-68163530



- ◆ 入居企業数: 200社
- ◆ 入居日系企業数: 0社
- ◆ 電話番号: 0871-67971700

嵩明楊林経済技術開発区は、1992年、雲南省人民政府の批准を受けて昆明市に設立された。2003年には省政府により全省重点工業園區の1つに認定されている。さらに2013年、国务院の批准を経て国家級経済技術開発区に昇格した。主要産業は、自動車製造および部品パーツ、付属品、設備製造、食品・飲料、新材料、情報化等である。

曲靖経済技術開発区は、1992年、雲南省人民政府の批准を経て曲靖市に設立された省級開発区である。2010年には、国务院から国家級経済技術開発区の承認も得ている。主要産業は、有色金属、太陽光発電電子、自動車設備の製造、特色ある軽工業および現代農業等。



- ◆ 入居企業数: 1,000社
- ◆ 入居日系企業数: 0社
- ◆ 電話番号: 0874-3316918
0874-3324366



- ◆ 入居企業数: 300社
- ◆ 入居日系企業数: 1社
- ◆ 電話番号: 0873-3646129

蒙自経済技術開発区は、2003年、雲南省人民政府の批准を経て紅河ハニ族イ族自治州に設立された。さらに同年、国务院から国家級経済技術開発区の承認も得ている。主要産業は、鉄鋼、冶金、化学工業、機械・電力設備、軽工業、生物等。

^注: 入居企業数および入居日系企業数の統計は、2014年12月31日現在のデータである。以下、同じ。

出所: 各開発区の管理委員会等へのヒアリングに基づき、整理

1.4 雲南省の投資環境

(1) 省級以上の主要開発区の紹介

① 国家級開発区の紹介



大理経済技術開発区は、1992年、雲南省人民政府の批准を経て大理ペー族自治州に設立された省級開発区である。2014年初め、国務院の批准を受け、国家級経済技術開発区となった。主要産業は、タバコおよびその補助材料、自動車、機械設備の製造、バイオ製薬、食品・飲料および農業副産品の加工、建材、電気エネルギー、軽工業、紡織等の産業である。

◆ 入居企業数: 500社

◆ 入居日系企業数: 0社

◆ 電話番号: 0872-2325811、0872-2322147

昆明高新技术産業開発区は、1992年、昆明市に成立した初めての国家級ハイテク技術産業開発区である。2012年4月、国家科学技術部により、中国第1回「国家イノベーション型特色団地」建設モデル団地に認定された。主要産業は、新材料および設備の製造、バイオ医薬、IT等の産業である。



◆ 入居企業数: 4,500社

◆ 入居日系企業数: 5社

◆ 電話番号: 0871-68155006

出所: 各開発区の管理委員会等へのヒアリングに基づき整理



◆ 入居企業数: 30社 (いずれも年間販売規模500万元以上の大規模企業である)

◆ 入居日系企業数: 0社

◆ 電話番号: 0877-2064291

0877-2069302

玉溪高新技术産業開発区は1998年、雲南省人民政府の批准を経て玉溪市に設立された。2012年、国家級ハイテク技術産業開発区に昇格した。主要産業は、バイオ医薬、新材料、農産品の高付加価値加工、巻きタバコおよびその付帯製品等の産業である。

1.4 雲南省の投資環境

(1) 省級以上の主要開発区の紹介

② 省級開発区の紹介 - 8市の主要開発区状況

所在地	開発区の名称	成立年	主要産業分野	入居企業数 (社)	入居日本 企業数(社)	開発区の連絡先
保山市	騰衝経済開発区	1999年	バイオ製薬、食品および農業副産品の加工、家具建材、鉄鋼、ファインケミカル、物流等	60	0	0875-5146077
曲靖市	馬竜工業園	2000年	石炭のコークス化、リン化学工業、建材、冶金、機械製造、生物資源等のグリーン農業による特産品の加工等	81	0	0874-8076818
麗江市	南口工業園	2003年	生物資源のイノベーション、生物加工工業、ハイテク技術、工芸品加工等	13	0	0888-5157468
玉溪市	紅塔工業園区	2004年	バイオ製薬、光エレクトロニクス、新エネルギー新材料、製錬および設備の製造等	80	0	0877-2689030
臨滄市	臨滄工業園区	2004年	水力発電、鋁業、建材、造紙、バイオ製薬、製茶、畜産品加工、サービス業等	100	0	0883-2161008
普洱市	普洱工業園区	2006年	食品加工業、生物資源開発産業、物流、建材、林板、緑化等	150	0	0879-8888505
昭通市	昭陽工業園区	2006年	バイオ製薬、農特産物の付加価値加工、建築建材、印刷包装、鋁物の製錬業等	30	0	0870-2833199
昆明市	安寧工業園区	2008年	冶金および機械装備、石油化学工業、リン塩化学工業等	1,000	0	0871-68696656

出所：園区管理委員会等へのヒアリングに基づき整理

1.4 雲南省の投資環境

(1) 省級以上の主要開発区の紹介

② 省級開発区の紹介 - 8自治州の主要開発区

所在地	開発区の名称	成立年	主要産業分野	入居企業数 (社)	入居日本 企業数(社)	開発区の連絡先
大理ペー族 自治州	祥雲財富工業園区	2001年	鋳業冶金、化学工業、農産品の生産等	68	0	0872-3129937
文山チワン 族ミャオ族 自治州	馬塘工業園区	2003年	有色金属、冶金、化学工業、石炭、建材 等	52	0	0876-2121259
デチェン・チ ベット族自 治州	迪慶香格里拉経済開発区	2004年	食品加工、生物農特産品加工、鋳産品加 工、医薬等	30	0	0887-8388567
徳宏タイ族 チンポー族 自治州	瑞麗工業園区	2004年	自動車、オートバイ、機械・電力設備製造、 紅木(高級木材の総称)製家具の製造、 バイオ医薬等	115	0	0692-4152169 13987026833
シーサンパ ンナ・タイ族 自治州	勐海工業園	2004年	雲麻(産業用大麻の1品種)製品の加工、 茶葉の加工、農林製品の加工およびその 他の農業産品加工等	56	0	0691-5162279
怒江リス族 自治州	蘭坪工業園区	2005年	銅、鉛、亜鉛、銀の採掘、選鉱、冶金およ び仕上げ加工、特色ある自然食品の加工 等	17	0	0886-3215295
紅河ハニ族 イ族自治州	瀘西工業園	2006年	石炭化学工業、冶金、建材、生物資源、 農特産品加工等	35	0	0873-6654468
楚雄イ族自 治州	禄豊工業園区	2007年	冶金、化学工業、建材、機械・電力設備、 ハイテク技術等	70	0	0878-4128188

出所: 園区管理委員会等へのヒアリングに基づき整理

1.5 雲南省省都(昆明市)の概況

(1) 昆明市の地理情報

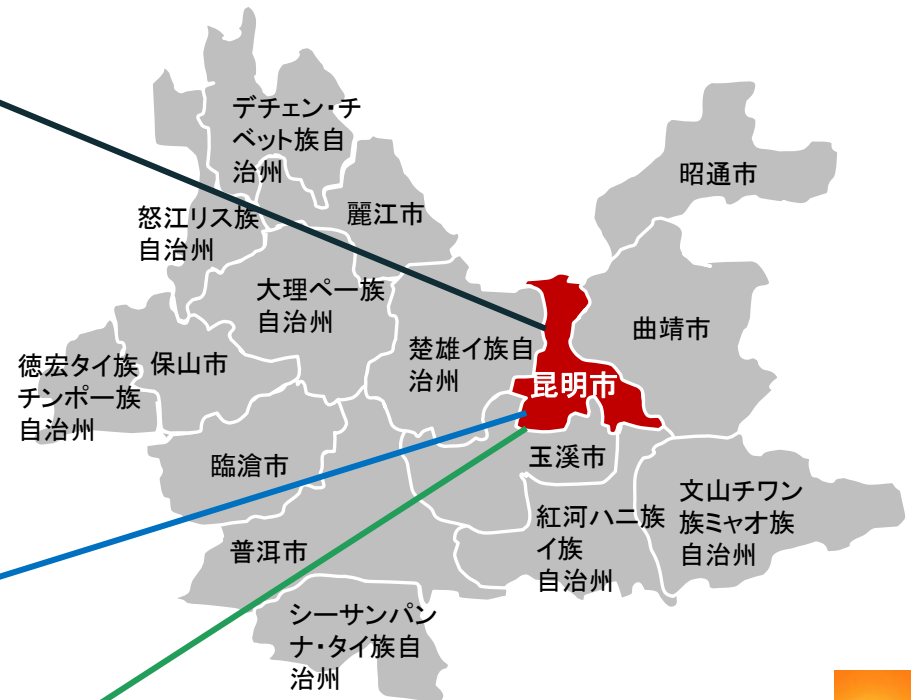


昆明市は、雲南省の省都である。中国西南部、雲貴高原の中部に位置し、市中心部の標高は海拔1,891メートルである。三方を山に囲まれ、南部には滇池という湖があり、北はすぐに四川省に隣接している。総面積は約2万1,011平方キロメートル。2013年末現在、市全体の常住人口は657万9,000人、都市人口比率は、68.1%である。

地理情報および人口

自然資源

- ①土壌資源: 昆明市の土壌は高原の赤色土地域に属し、主に赤色土、紫色土、水田土壌の3種がある。
- ②植物資源: 植物資源も豊富である。亜熱帯常緑広葉林、針広混交林、温帯針葉林、高山草原といった異なるタイプの植生が分布している。また、400種類以上の伝統的花卉を生産する。
- ③鉱産資源: 鉱産資源も豊富で、主にリン、塩、鉄、チタン、石炭、石英砂、粘土、珪石、銅等を産出する。リン、塩鉱が最も豊富である。
- ④水資源: 滇池、陽宗海等の高原淡水湖および大小さまざまな多くの小河川を有する。地表水資源の多年平均量は64億9,500万立方メートル。



気候

昆明市は、北アジア熱帯低緯度高原山地モンスーン気候に属する。年間平均気温は16.5℃、年平均降水量1,450ミリメートル、霜の降りない期間は278日に及ぶ。年間の気温差は比較的小さく、市街地の年間平均気温は15℃前後、最も暑い時期で月間平均気温約19℃、最も寒い時期で同約8℃と、過ごし易い気候となっている。雨季と乾季に分かれており、年間の降水量も雨季と乾季によって明確な偏りをみせる。雨季である5～10月の降水量は年間降水量の約85%を占めるが、乾季にあたる11月から4月までの降水量は、年間の15%前後に過ぎない。



出所: 昆明市人民政府公式ウェブサイトの情報を基に整理

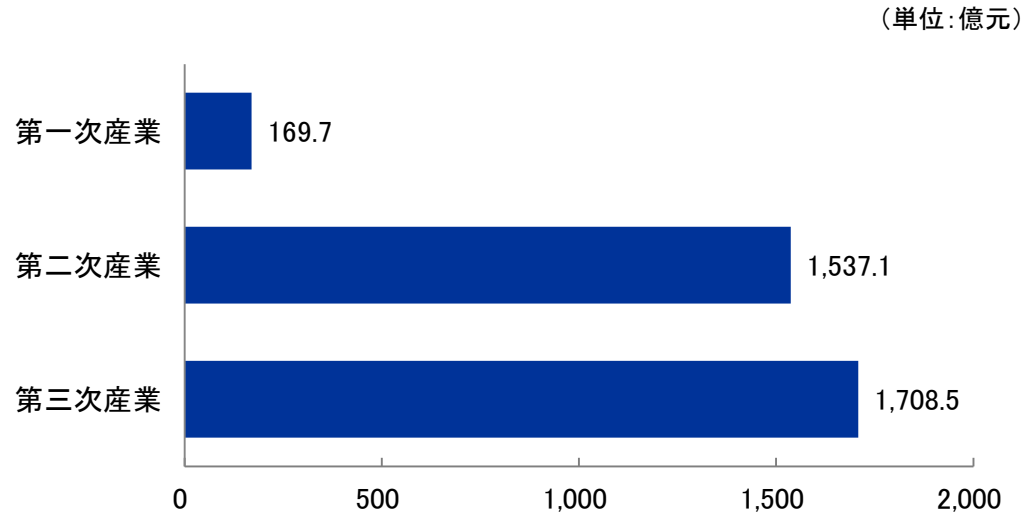
付属資料：雲南省の地図-昆明市の位置



1.5 雲南省省都(昆明市)の概況

(2) 経済概況

① 域内総生産 (GRP) および第一次～第三次産業別内訳



2013年の昆明市の域内総生産 (GRP) は3,415億3,100万元で、実質成長率は12.8%であった。昆明市のGRPは、雲南省全体の29.1%を占めた。

このうち:

- ・第一次産業は169億6,800万元で、雲南省全体の9.0%を占める。
- ・第二次産業は1,537億1,100万元で、雲南省全体の31.2%を占める。
- ・第三次産業は1,708億5,200万元で、雲南省全体の34.9%を占める。

そのほか、昆明市が優位性を持つ産業には、主にタバコおよびその付帯製品、冶金、化学工業、設備の製造、バイオ製薬、電子情報、エネルギー、食品、建材等がある。

② 輸出入額



2013年の昆明市の貿易総額は、前年比20.8%増の174億2,200万ドルであった。

このうち:

- ・輸出は同83.1%増の104億900万ドル。
- ・輸入は同19.7%減の70億1,200万ドル。

出所: 雲南統計年鑑

1.5 雲南省省都(昆明市)の概況

(3) 交通建設状況

昆明市は観光業が比較的発展しており、旅行客の移動の中核を担う航空路線網が急速に整備された。しかし、道路網は、今後のさらなる発展が待たれる。

1



道路

2013年における昆明市の道路旅客運輸量は9,803万人(延べ人数)で、雲南省全体(16市・自治州)の21%を占めた。貨物運輸量は1億6,176万トンで、省全体の22%を占めた。旅客取扱量は114億人キロメートルで、省全体の23%を占めた。貨物取扱量は115億8,700万トンキロメートルで、省全体の14%を占めた。

2



鉄道

2013年、昆明市の鉄道旅客運輸量は1億2,515万人(延べ人数)、貨物運輸量は1億8,582万8,000トン。旅客取扱量は274億7,610万人キロメートル、貨物取扱量は274億1,510万トンキロメートルであった。

3



航空

2013年の昆明長水国際空港の旅客乗降客数は2,968億8,200万人(延べ人数)で、中国全国に193カ所ある空港の内、第7位に位置し、中国西南部で第2位(1位は成都双流国際空港)であった。貨物・郵便取扱量は29億3,600万トンで、中国全国で第9位、中国西南部では第2位(1位は同じく成都双流国際空港)であった。

4



地下鉄

2013年、昆明地下鉄の運営距離は40.62キロメートル。現在、38.96キロメートル相当の新路線が建設中である。合わせて6路線の地下鉄(1～6号線)を建設する計画で、2014年末現在、開通している路線は主線路である1号線、2号線(一部)、6号線(一部)の計3路線となっている。現在、1号線の支線と2・3・6号線の2期工事が行われている。すでに営業運転を開始している地下鉄路線図を次ページに付記した。

出所:2013年昆明市国民経済社会発展統計公報

付属資料: 昆明市の地下鉄路線図



1.5 雲南省省都(昆明市)の概況

(4) 消費動向

2013年における昆明市の社会消費品小売総額は前年比14.0%増の1,702億3,000万元であった。社会消費品小売総額の増加は、消費ニーズの増加、企業収益の改善、住民の収入の向上、消費財市場の市場規模の拡大を意味する。



1

2013年、昆明市の都市・農村住民1人当たりの可処分所得は前年比12.3%増の2万8,354元であった。農村住民1人当たりの純収入は同15.3%増の9,273元となった。農村住民の収入の増加幅は都市住民を上回り、農村と都市の収入格差は縮まっている。



2

項目	食品	衣料	家庭用設備 および サービス	医療 保健	交通およ び通信	教育・文化・ 娯楽サービス	住居	その他
2013年の都市住民消費支出割合(%)	34.4%	9.5%	6.2%	6.3%	14.3%	15.3%	9.8%	4.2%
前年比伸び率(%)	▲8.7%	▲31.1%	33.5%	▲6.3%	▲15.0%	20.0%	63.9%	18.1%

3

2013年、昆明市の都市住民の消費は依然として、食品、交通および通信、教育・文化・娯楽サービスをメインとしている。しかし、2012年と比較した場合、住居、家庭用設備、教育・文化・娯楽サービスが比較的急速な成長を示していることが見てとれる。昆明市民の生活水準が向上すると共に、彼らは教育や精神的・文化的な生活(フィットネスや娯楽はすでに各家庭の休暇時における主要な消費項目となっている)を重視するようになっている。



出所: 2013年昆明市国民経済社会発展統計公報、昆明統計年鑑

1.5 雲南省省都(昆明市)の概況

(5) 昆明市中心地区の主要百貨店

昆明市の市街地中心部は、五華区、盤竜区、西山区、官渡区、呈貢新区からなる。市街地中心部に設立された主要な百貨店の情報について以下にまとめる。

番号	百貨店の名称	開業年	所在区域	営業面積(平方メートル)
1	金格百貨(白塔店)	1997年	盤竜区	12,000
2	百貨大楼(新紀元店)	1999 年	五華区	42,450
3	新西南百盛	2001年	盤竜区	21,000
4	柏聯百盛	2001年	五華区	100,000
5	美辰百貨	2004年	五華区	26,000
6	金格百貨(中心店)	2004年	盤竜区	28,000
7	新世界百貨	2004年	五華区	12,600
8	金格百貨(匯都店)	2007年	盤竜区	45,000
9	金鷹購物中心	2007年	五華区	約33,700
10	百大新天地	2008年	五華区	26,000
11	正義坊購物中心	2009年	五華区	170,000
12	金源時代購物中心	2009年	官渡区	350,000
13	順城王府井購物中心	2009年	五華区	120,000
14	金格百貨(時光店)	2010年	盤竜区	30,000
15	七彩me town購物中心	2013年	盤竜区	80,000
16	西山万達広場	2014年	西山区	200,000



本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL：03-3582-5181（中国北アジア課）
E-mail：ORG@jetro.go.jp（中国北アジア課）

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。
ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した
内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切
の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

アンケート返送先 FAX:3582-5309
e-mail:org@jetro.go.jp
日本貿易振興機構 海外調査部 中国北アジア課宛

本調査結果をご覧いただいた後、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査項目選定などの参考にさせていただきます。

■質問1:今回、ご提供させていただきました「雲南省の概況」について、どのように思われましたでしょうか？(○をひとつ)

4:役に立った 3:まあ役に立った 2:あまり役に立たなかった 1:役に立たなかった

■質問2:①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

■質問3:今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください。(任意記入)

ご所属	☐ 企業・団体 ☐ 個人	会社・団体名
		部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針(<http://www.jetro.go.jp/privacy/>)に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～